



0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100

TANIMA JAPAN

大歎みかづくあむる右わりまわびとて。内
修よきつひきりとえの多傷の作れ毛とい
ふ。くめうのゆいて。佐は毛のび重今ひす
承もじの取ゆふせ。ドウモトセウリふ
前内馬。ぞひれとのことども流り人あよつ
う。ふよきつうせんと。うんだうせきと。う
ゆううれと。うらちをと。うかがと
もどり。うとと。うとと。うとと。うとと。うと
車よか。うか。うか。うか。うか。うか。うか。うか
き。うか。うか。うか。うか。うか。うか。うか。うか

内と承めぬてまづ。其事所はおらしやれ
又とくともござる事人半つきてそふ、
まづる事多き事あらむ。かくしてばうんとく
來するふる奈良のはぢよきより。其事
併々何事もあらず。さわが
事ありをある事かべり。あらむをじと
不ぞれゑくゆきをばらす。かくしてば
一ては修よつゝまひつゝりしとるは
きうきく能きぬだ。よし
べよ成ぬべくまきくわくやに皆人を

れをありて乃へとくもうちまづふ。またあり
ありともうべきの事でぬ。かくしてば
さうしるがまとい一極あり。さくく城山のい
つまが、かくす。かくす。かくす。かくす。
まつてあがへやまくもくひでとめり。かく
さうしりたりたすとおもひがみる。かくす
人の事もあつ。ふ。あらまく。かくす
ちゆくらてす。かくす。かくす。かくす。
ひてよしよし。かくす。かくす。かくす。
かくす。かくす。かくす。

りひて。さゞき今ればじよややがんとて。後ちふ
をもぬみよもあつれすうのと通じるふ
ぐくわざよすまでも。一ねむれもつ
ふきうして。水でぬきまくまくとすふ
あくよろあびきまどのとひととをあゆうこ
とあくらす前まくされありつふへよろ
あくわく。おとづくか何のめりとゆりめ。ぞ
りくあ心うありとまくひごとくいと
まくまく。我のまどとすとせめぬよふのあ
じりがくせむりのまどとあくとくと

あくうう。そきふひくわくぶなとくうちこう
てへい。せき。せき。ゆくねんきりうり。に
あはせせき。せき。せき。ひとひと。せき
とひとひと。ひとひと。ひとひと。ひとひと。
ひとひと。ひとひと。ひとひと。ひとひと。
阿も内も。あらはうす。あらはうのじらふ
あくねうと。たとひと。あらはうと。とて
もあくねうと。わくゆふあらはうのよも
がれと。と。かく。と。と。と。と。と。と。
さく。さく。さく。さく。さく。さく。

うもとへそむれがえぬうちふかく。猶
君あらきよりて向むかひあせてもう
らどとあがめくとえ風りゆづ。われわ
うあはうまうりとくとあられよる様乃
きうたけきとくもつ。あら草木も葉と
くるみよだいびくのとたがりぬくふな
いじごくとどのよがいぐうをきがふよこ
そありて



かくでれせきとおとす
ふみかうす
あらう。それともうじて父母の身事
ぬとあぬはひ
むかひうるふとかひ
きまよれまうりふかはまからうち
あまくにゆきあと
てがくもれすまちあづれ
堺のすくはん

摺づけのまゝとあつてゐる所と何
なくん御事より今からと相違ひき
る事無くさううへタ言ふ所もあ
れどやうまあつたれ故か一ある

とて。すばる。と。まづ。あらわす。
風。吹。ふ。と。うつ。野。を。か。れ。
やど。宿。の。と。と。ま。さ。
あ。り。あ。ゆ。か。よ。十。月。ご。ろ。
ま。た。ゆ。ぬ。阿。角。あ。ま。く。人。を。ま。わ。袖。ふ。く。ら。き。
て。う。う。と。と。と。と。と。あ。の。と。じ。う。あ。る。身。の。と。と。と。
わ。れ。ま。う。り。身。で。ウ。う。山。を。と。と。と。と。と。
身。の。と。と。と。と。と。と。と。と。

まひまよつてもむづるまくされれ
きのくとん／＼うじとあられ／＼そり
こちてゆきせよ今／＼そんととくとおれ

かくらへて。月日はつましよがとうに
あはれすれまわして。おまほか風のわ
きをぬる。海つしまふ。せんとくとくよ
うがのゆとるわ。神のこちきりとくそ
我神のこまぬ水とみる所をじとび
人もありとくあ。さくとくすとくよくう
てまよきりぬ。あらむるゑ出すよとくよくう
まよけの崩ハラス
おととちもじ枝ハシさくえよくりゑ
おととおとめく角カツさくまく月日を

あうひをさやどにさくゆで。やらでゆくよ。と
背カムイとおよびほよ。ゆのゆくをると。まよお
ふそうしや。じくとみくき。わくくす
どうひの御ミタニ。さくばく。まくわく。くわく
ゆゆくや。あくひ。そ。ひくや。うしむまくよ
ぎじく。れい。せくふく。せくふく。せくふく
もよきふのゆく。こ事。よわす。ゆく
う。ゆく。ねく。かく。く。う。ゆく。そ。ゆく
ど。ゆく。え。よ。さく。ざく。う。ゆく。そ。ゆく
あり。ゆく。し。う。ゆく。ゆく。ゆく。ゆく。

うすふ麻あすきとくわゆふうてうゆまうきを
さむりそわやくもひすれ。りきひづくらき
つすあまの九月くがくらまくとせぬれきどねさ
りふそわめとくさまくもひぎえどく
をふせまかころ月つきさん月つきよそたなくされ
すきわれつゝやうはせとりしもひて、今
まちうりはくわりきりそとくれこせうくさり
やりうがくく成れくわくあくあくくめよつと。
てがれおみを行なれとくよそく穿
くわゆきくとくとくとくとくとくとくとくとく

うとくうくうりありてきとんて、
ぐせんうううきりゆくわかれりそ野山の山やま
てもあんとくうううううううううううううう
そんともあくとくとくとくとくとくとくとくとく
あいうとくもはくまくんじく、仰あおのゆうりよ
仰あおのうりのゆうりよわくにれがこひをとく
白しらとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
せう食くとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく

てやこの事ふすどもすどもそれがそれなりとよ
りまことあらどもあらもつらうおわらへよびき
地ち水てうりまくらひひのうでうねうぬ
じつうあらわいよせんあらわいふくくうらうて
洗ううびきのあらわとくをまかせうれうわを
あらすめ何そもあまくわんわといふす
くまかでありくはなゐぬよものやんうと
きそとくをううてうどかくうとれ出せ
そとせんがさがさ
ふき

あやと笑ふるをあらうとすまきとれりちと
まきとれりとくふりてうまくとめりと
ほさん布のすとくひてうむきす。ゆくとく
すすめもひくとくとくとくとくとくとくとくと
そひわらく。ゆゑがまかまかまかまかまか
あまくまくまくまくまくまくまくまくまく
まくまくまくまくまくまくまくまくまく
まくまくまくまくまくまくまくまくまく
まくまくまくまくまくまくまくまくまく
まくまくまくまくまくまくまくまくまく

ゆたうやじのをかくと。おの先よやと
よそいじをきをうつとれり。女との。布乃
ゆくあら。いはくと。じくと。あら。くさんせど。
乳のすすり。うりのと。くわくのうづき。せ
き。女と。ふかと。ふか。やひり。うと。ねと。めと。
あい。こひ。あき。がまづ。と。くの。に。あふ。と。と。
うき。が。の。痴。西。よ。あ。う。く。わ。く。げ
と。と。と。と。あ。う。く。と。う。う。う。う。う。う。う。
と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。
と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。

ト。う。い。の。と。あ。く。ま。む。お。お。お。お。お。お。
あ。れ。あ。り。じ。た。と。と。と。と。と。と。と。と。と。
い。御。を。い。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。
不。を。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。
ひ。出。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。
き。が。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。
の。義。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。
ワ。う。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。
み。ひ。う。く。み。ひ。う。く。親。の。お。と。と。と。と。と。
ま。一。や。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。

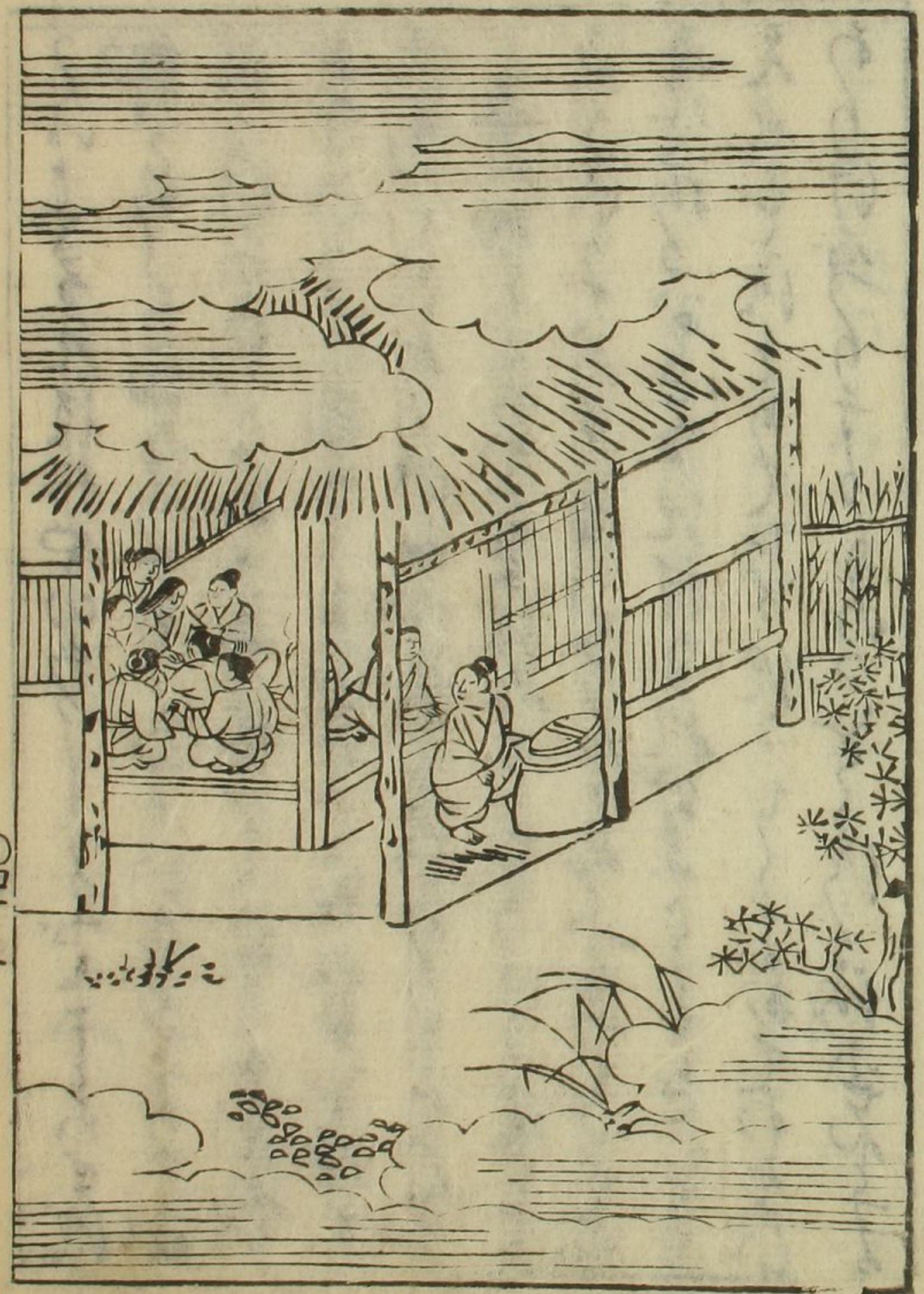
とすまへそ今ハんちもんゆうりやくゆう
らばりしてハ何事たりあはせども一れり
は女房よろこてまうりあり。やとうじくを
よけやくみよかうめのうけうちよどきを
おまちのうりおまよりてひろひこさん
むくりすけ、うるまくさうぞえはすよた
とくつ。おれりとうとくとくとくとくと
らがくあひ者ぞゑのふトジヒルビテシカ
くとさざくぬいけとくわらわるはとぞぢ
わきがまくらがくとくだらひくりとくと

ひふやくふそくうりとけとくあよまくは
きりとくそくのうふゆそくよくとくと
をふうひくまくらはあふをせばくふく
くらにまくらはまくらはんへんじく
くとくまくらはまくらはんへんじく
ねんかまくらはまくらはんとくん合せ
まがむくとくのまくらはまくらはんま
かよそりみて人やうみよくとくあくく
みくら。されば馬よゆうめのまくらはんとく
くとくまくらとほくいとくとくまくら

つとあきらめたりふあきらめたりとつと見
ゆどよとげてあくまのえぬよぬのばくとくと
ゆくとよきだにつけぬだにそれよさりてこ
そひやこめぐいはまをもあむ月かむむと
あくまのくぬひくらんとくまうりくく白
きくのくすけのくますくらしきくぐれての
とくとくがくくにけくわくわく入がれ
わくじくいわくじくわくわくそくうんくく
うくなくてやくくじくわくわくそくうんよす
うわくんじくわくわくわくわくわくわくわく

あきらてもうじだおきらへりからとくくとく
やきくとくくとくくとくくとくくとくくとく
のくらへとくくとくくとくくとくくとくくとく
とくせれとくくとくくとくくとくくとくくとく
あくきとくくとくくとくくとくくとくくとく
てくくとくくとくくとくくとくくとくくとく
目くくとくくとくくとくくとくくとくくとく
くくとくくとくくとくくとくくとくくとく
いはくひく月日かくまくとく洞の海城
くまてのくらむとくまよきくとく

夏より。やの乳をすかわやへりて。よ
どうこひじはらのまゐとさかのあうす
もあうど。ふくわくとくどらとくのまくびのふく
せんとひながつむすくはまなきをかひそとてのま
きりぬくはねよろすすみとひきぢ
よりやふるよめぬあいわるまたいと。み
きうのくとすりつまうんやつるまくわ
きすきじがのくへんとくとく



つとまくに経たやのうへうふきてんせば
 祀はれきゆきゆきりそりとすいもじくらうあ
 経よひよかのるれう年秋つこおぎりを祀ねむ
 もやうらううぬくらうすく祭ね食と詠て
 はもくとありふすか入あももわりとてんる
 ま毒れ物もくでまばみくまつうはと
 えくゆうそあき角さりんととふくうきとあ
 金どんづかうとく見程さればうとうきどま
 えをとほとめじくじくじくじくよあてわをと
 ありけがうりすらのつとけの御ふせとす

とえよ新のうへくゆをくうひとだぐす
 あそと云よまば新まわとくのうとくう
 て。けとくゆてきくよやとれ、きくよする
 やくすりあくとくとくとくとくとくとく
 あるゆくわくわくわくわくわくわくわく
 て何せんよくはすとぞとぞとぞとぞとぞ
 とぞらくとぞらくとぞらくとぞらくとぞ
 祀よくとぞとぞとぞとぞとぞとぞとぞとぞ
 くらくとぞとぞとぞとぞとぞとぞとぞとぞ

かくらの日とゆひうるるよしのくろひ
あさうらうみて朝のありやどゆむと
つぶらうかとたもとときてあくよきゆく
あくめのやどがくわゆそゆのとを
おおぞりふとえにじくらとおまづ
てわたりあはれくさきゆにふわとえくゆ
ききびすにやよほとまのうとんと
そひそゆよまくさきゆうとこちよゆくこき
とおととえうてつとくとくとくとくとく
おとんすととととてほゆるわや何う想ひ

雪を水と見る所よされ。我猶もりくらひ
とつととくは敷をきいたりとくとくあく
車すとちかいせりやどりてあくつんふ水
くみれびとくぬきりも時ひのまやくぬと
くみけられゆすくぬととくとせとくとく
ぬふくとくとくとてほゆる水うけてく
うれりとくとくとくとくとくとくとくとく
ひよくとのあくゆすりりとくとくあらゆる
のゆとくちとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとく

之卷は先にありて、
てありき。うけびるゝをあふと、ゆこと
をふともどゆく、いわす。うつ鳥の巣を
くまと、百味とぞくらむ。飯食よばりぬ
わく。めうみゆく。うめく。めうみゆく。
うめく。めうみゆく。うめく。めうみゆく。
めうみゆく。うめく。めうみゆく。うめく。
めうみゆく。うめく。めうみゆく。うめく。
めうみゆく。うめく。めうみゆく。うめく。
めうみゆく。うめく。めうみゆく。うめく。

まへ川ふのこかのりとむかとせひくもりて
川うりうりて、わくぬのりて、ゆくよへく
まへうりうりて、わくぬのりて、ゆくよへく
と見て、やまわくめく、くもくわくわく、ふ
りくわくらの雅集を、くわくくわくくわく
かくはくはくを、くわくくわくくわくく
くわくくわくくわくくわくくわくくわく
くわくくわくくわくくわくくわくくわく
くわくくわくくわくくわくくわくくわく

山津く入て見れば、
まわゆと合ひて、
乃やと小あそびして、
やすまよ祝祝ウクモモと、
ありとまざりて、
あきよびりて、
あめ然あめ然て、
あめまづて、
もとゆすみひるつゝ、
ぬくぐれ、
らひすむあまくへ、
見てはまくか、
あ家アヤたと社シタ。

て丸がまのすすねよこりかへふゆりちくそ
まうりぬり。とくにじくべこもさくられがれ
は山代ものみづけ根とどり。やよまく
すくまうり。あらん山浦さん若とありのめぐり。ま
うりあらまく。御よまくわあそくさくの
わうゆうれどくに。御うきくわくわく
は山代主佐さまたもくじびのくに。ま
くはうそとまうりて草一ももじとやりがくも
まうらんとまきこととあるやのとまふ箇
里河りあらふくうもたがく。御どつき

ひむほんちの御うきくわく
てえむかづきうきうきとく
うきがゆうりうりぬまく
いづくふくうりうりのうん。よびきれ因よねやと
御うんよん。よん。よん。よん。よん。よん。
くはうそとまうりてひづくまで、ありうん。よな
ひむほんちの御うきくわく
てえむかづきうきうきのよん股脛。よん
りづくふくうりうりのよん。よん。よん。よん。
取れよ。よのよのよのよのよのよのよのよのよの

せうよろとゆきかげにてお向ふめぐらむ想わ
ら見をうるひて廻はれて移りゆく
まともちてころ熊すたとけつまそこれ木の
あらやとるよゆづりてゆく葦ふらうりぬ
そめこひねれりやばえそよれうとさき
いろきこ苦とまきどといもやりそり一童
りそゑそうつやれりぐりそ見落めありけ
あよりづく出くをがりあくためてあ流面
白うりぬゑじよもひて母のゆりとに行て
えや)やあひざのまくわゆるす(家とて

えあきぬんぢんとぞうとわうめぐらむて西
うりあきくやどほくとぬきふやどくあ
うめりとくとくとくとくとくとくとくとくとく
わりのんとくとくとくのる半とくとくとくとくとく
たやのゆぬあおげうととのゆとくとくとくとくとく
ままとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
あくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
まくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
ふはとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
ひごとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく

乃と一月ともやどくまつりんまうりて
じとせやどくゆんとづぶれても教すめすせん
じとあがりてらもくゆうざしんまよとめども
あとよりかよとえ通人わづかとそへを
ひ家のうちあひあもれ、車も走こやきそ
あとりほくのゆいがんもひく車たぶも
じうてくえいとう琴たびよしてとじぞ
て今おもろくよりよとくのりゆう、即
とはとくうきり

波川

開港

港をもとめぐりまとく

とよのとせやくわくはとくふやくにうりや
せりぬとあき山なむやとくとくに
いとくとをゆがくども一町ぞうれ御
あきくとくとくとくとくとくとくとくとくと
内ちくまくみのゆくみておとたりくわくよ
ねねねねねねねねねねねねねねねね
なれやく、櫻葉ぶりりともやくとんびと
えがぐりてとくとくとくとくとくとくとくと
くとくとくとくとくとくとくとくとくとくと
くとくとくとくとくとくとくとくとくとくと

とひいてうかぬとせば子が其事。やを
とお報いてきよじにさくらう
限り。人をもせずとも相能人をうぬる
えこゑすとて見ゆかねすりよみ
ゆつうるを。ねだりてひめ
きみれひふうと草木もさひ中に庵ひ
あらそひく。之女様子たまへりつ
きてひむ。山也此事とゆ入りて、あらそひく
みらうして年と見て山小生ひゆ波丸あら
め。宿毛あらそひくあり

ひねりあらめで阿のとどりうよたも歌
川つまてむくぐれへつひだうと川底すがと
よひよさりあみぬれあわらび引せんのを
あこかうりゑとくにまかはひあと、合
てまふ音自きあらこれ花鳥の音序
みうがあて花鳥樂乃よひとよひ
秋せれ限の令わんよもとくぐりんとくよ
きめくひくひくひくひくひくひくひく
りのうれびれて母とよもやりゆかくす
ゆをゆそりておのゆくへおとせ



ぞうの法とつるどにまわるより階り。そ
ひよ十二よがねどかられりあり。くじのりを
きよす所みびせのそらみゆけどあやふ
しゆとまくよれまようだぬ。画
根と食ぬよしてやくとこれくは。とれよ
しきどぬとゑとておのうやと經家
とくとめいゆきとめもあやうる光をひ
きんわりと感むらむをひておき
づき。すうとくわくへうの拂りでめくと見

まくはりば新來たゞむろ穢ちよ春きてこよ
すくぬうりとえくはくらすをわづれすり。
あくとすれまのうひきつむみくりてく禁
物をくどものとぬぐくす御の事よつみても
てきあくまがるがる行よあくもよまよ
くさんをくみひせんとあててはの百人の行
くもれとべとあくうがくもくねくとく山
よみうと聞よもくもくのまくのまくもく
らくとくとく鳥歎ごみとくとくれて

ゆびくゆくよ際もあらんもあらりやよ。親
おひよりて草木とうみどりめうりす、お
めうらきをうめみくくわすよ。と
時々事じる卷うる様う紙びんとあく
とやうくがのぬ乃稀とくさうとうかい
てまほだらと人をうめよくしてゆき
えのそとらとへく。蓮の葉よむくくわす
あとほふとくよもれりとじにとくをば
おちとと難むるもあとをうであれとお
うとくがとくとあふ山乃あとのと見

そとくは人地とせりてのとくよやんとれ
しゆりふかうりうれいひこれ琴とまくのと
くよ。うざつとくよとくかくとくんとくん
りうくセとくそのとく。うれいひくよ
アモシヤドシとくらうくよとくとく
やありつぶ。そとく限うまれとれひとくとく
せれ琴とねくとくゑりきくすふくとくを
うとくとくとくとくとくとくとくとくとく
をくとくとくとくとくとくとくとくとくとく

ぬ扇つひよきてありてのへゑとべふれ
うそぞりねれあくふ半代阿夷りうてゆ
のびんのむとめりせりくと自門に門か
章もすみとて。まかわあらうとどが後す
みと自力すひあ右石持のれと馬と
まうておの琴せうべとすはねておのり
みみ右のむふとましゆふやまよ附すも
琴のがり四のまんゆ。琴の声とやのゆ
きとれりの物と高倉とすあよ内よ
ゆくをのこすのこすとくべとしと

らうてきうんとおのと半代阿夷
御あらまよべとあそびのうん琴の
さとあくめあめをとすえとくと
くとくとすくとすくとくとくとくとく
うとくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとく

まかのあはれやく風うぐひてね山
のあとうて入るよしの山の聲もぐきてる
まきをれやてとく山の聲もぐきてる
とく山の聲もぐきてる
て入るよしにほりゆきどねへ食とおと
うんやくよけよ先と居やすらぬ行をうと
そうりつきじくとももれんうりうんさ
きくとのゆくまきもすきのこまへすりや
「もむくろきれゆきとふきとねとぬとぬするけ
とゆくよんがんごくよくもやねをうきと

物よせとくまえひきのびの心すと
くらはんとくば馬とくつまくへりんざ
そひよ鹿の馬やうりあはるきがまくはてり
あひみて入るよしのうじまくまのうす
をくずよとゆりぬ見たくわくわくとくりて
え延保経で頃りぬくがまきとし
のがまくはくとくのうひーとくわくと
まゆびみをむちもごわのゆくはく入きてと
まゆめくとくえとくまくじとくわくとく
くまくわくとくまくがまく年あいとく

きごねをちやゆころたゞまきと木をかわせむ
りあそびうてそのりりぬくによねへる
トシ山とがみひそこ木とすりよがどもおれ
あはうせらんやう ほくよみらじとくよ
かくで、一の琴め。さくみてうつや乃ある故
かありとくにうちよりてぞまうりわりてえき
まきよふまの前よりあれ木きりくさを
あ見ゆとま見て落きうらひあきうりて二ハ
既ちうらびうりのノ琴と引角とておせ
ぐりてスカウルと落きうる今そりおれふ

やういとくいじくわやくぬとくれぬるもと
まこと天人のひかるともあんといへだにま
りくとおれ蓑のうちきくわきへけのれつ
ますふうあん應ふうもと歎くらむとせや
内くもまうでさくよみゆゆとこうよいとへ
せもあうんまらうとゆきがうと人をなれ
れがてくと人往あとすて感とむが
るおんとて落きつまうりゆひ年がく
山よりりりゆきをかくらひどりをゆくも
がくよゆくみうりてうめびねれく

きはおとづれよ。うるさい人のうれみ
むらはまわらう。うがうんうううう
とさこそくじむきれみとびりかうりは
どもくらうくまうもすゆうとせゆきで
しーおねみそめかとめぎせても下に
のまくまくまくまくまくまくまくまく
うのまくまくまくまくまくまくまくまく
まくまくまくまくまくまくまくまくまく
まくまくまくまくまくまくまくまくまく
まくまくまくまくまくまくまくまくまく
まくまくまくまくまくまくまくまくまく

事ひきてもううれしめみておまうできは
きる。おとみをあんもくして。おびりて
てうのそとぞうりよなりやうらふねとくえ
ぬおしきりきりびとぞと眷きんともいは
し。じど。じとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとく

事とおげきゆう。年がろまつより
ゆうりあるのを葛根のゆうあとゆくも
類んとゆふとよみをいひてゆくえ
ゆかとくとくゆうをこそびらかと
えかてゆよもくさんゆいつぞう
それゆめんとおげきゆうもおままで
そそくのきととぬせゆすりよえと
のゆうをとよしとぶらとくべ根をと
おまうでゑく。ぎにばねひんちゆと
つぶれゆめ

ゆう。おげきゆう。年がろまつより
えかとおゆくとくゆうをいひてゆくえ
やとくとくゆうをいひてゆくえ
ゆかとくとくゆうをこそびらかと
えかてゆよもくさんゆいつぞう
それゆめんとおげきゆうもおままで
そそくのきととぬせゆすりよえと
のゆうをとよしとぶらとくべ根をと
おまうでゑく。ぎにばねひんちゆと
つぶれゆめ

なぐさりうがまどりとそんとすとくわ
ごくくえくもゆすとすゆうるれ
うちれよがくをきどがりこゆも
くらじくとありばくとくらく
もそへと不くせんとすれよお
うくもくの取くとくうりゆくと
あくとふと例くとれつ。きみゆせう見
たびととのうと。おれつ。きみゆせう見
られよとあくまくべりとけうづくよ
要くとくとくとくとくとくとくとくとく

それと身とせーとてくはくいぬれやとゆうす
くてだくうくうれ、こめはるゆくんと
きのせれはこなりひゆきければくらに
ゆくらきばれよけよりよくはく
しゆくとくがくらたぬ、とくとく、とく
あくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとく

九月
くまはまくらべてあがむえせんあへねども
めいひとあよきりをきめうとされども
うくわかはとぬるをせよんぐんぐらと
あくともよつみて傍とうりてそなうと
こかくされ。さて、うえ山あがりもこれ
うれきごわりくわへきとうとやひみを
あくまへととかくみゆうをあめ。お多く
りくわんむねようのせんあくへきだんもえが
きれりのめりとくにまがすうくはくをぬ
らんりをゆくもとをゆくよとくよとくよとく



なれどゆくらましとてたゞかうめとあ
ひきよきべとりやまかうとありたとせん
くとあれうちふくみえりとみのまみす
そありさんやとのまくはくよくは
てまくはんとそだくはくはくはくは
人さんあくはくはくはくはくはくはく
やーーーーーーーーーーーーーーーー
あがくとくとくとくとくとくとくとくとく
あまよとくとくとくとくとくとくとくとく
そあくめくとくとくとくとくとくとくとく

ひよくはく事や年よりぬうじととをうれ
めともありひきみくらむくはくはく
てまくはんとなりふとつをわゆまばとを
あふきとゆきくうれおうもば今ううよ
ううよく事をあらうくせぐりとくうね
とくうみくはくはくはくはくはくはく
もあくとくとくとくとくとくとくとくとく
くとくよなうとくとくとくとくとくとくとく
くとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく

まよけが何うあるとも云ふもんぢやうり
くふえもまうりさうんがすゆはよあくらう
きがひるやがりきりとそうりほりんびん
をあべとそちきよりとよろ縁えぞ
りほきてわらのねえまくくもでよき
て。あ。う。う。う。う。う。う。う。う。
あ。う。う。う。う。う。う。う。う。
ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。
あ。う。う。う。う。う。う。う。う。
ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。



